



風は海から

令和4年6月30日
令和4年度
横浜市立西富岡小学校
学校だより 7月号

「つながる力」を育む

横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

関東では、観測史上これまでで最も早い梅雨明けとなり、毎日、朝から強い日差しが照りつけています。校長室前にある池の紫陽花が満開になりました。蒸し暑い日でも、紫陽花の美しい輝きをみていると気持ちが晴れやかになります。



本校の学校教育目標「自進力！西富～実感・共感・主体性」の「実感」の具体目標のひとつに「自分とつながる様々な人やものとかかわりながら、自分のよさを実感する力を育てます。」という目標があります。それを達成するために西富岡小学校ではたてわり活動（1年生から6年生まで各学年でグループを構成し活動する）を行っています。わたしには1つ上の兄がおり、子どもの頃は兄やその友達、近所の子などいろいろな年齢の子たちで集まって遊んでいました。鬼ごっこやドッジボールでは年上の子たちには勝てません。その際、年上の子たちは、年下の子は何回までは見逃してあげるといような特別ルールをつくってくれました。遊びの中で自然と上の子は下の子を思いやり、下の子は上の子から知恵や工夫を学んでいたように思います。最近は同年齢で遊ぶことが増え、違う立場や気持ちになって考える機会が少なくなりました。そこで学校では、意図的に異年齢の集団をつくり、異学年とのふれあい活動の中で、相手の気持ちに寄り添い、思いやることのできる豊かな人間性や社会性を育てていこうと考えています。6月8日に第一回たてわり集会を行いました。グループが仲良くなるために、6年生がいろいろなゲームを考え、進行していました。6年生にとっては、計画がうまく進まなかったり、思い通りにならなかったりすることもあるでしょうが、そうした問題を一つずつ解決していく中で、違う立場を思いやる心やリーダーシップが育っていくことと思います。また、5年生は、6年生の行動を見ることで、次に自分がリーダーとなる見通しをもつことができます。3、4年生は、やってもらう立場でなくなることで、自分ができることを考え、行動する意識が育ちます。1、2年生は上級生に優しく接してもらうことで、グループや友達、そして学校への安心感が育ちます。

西富岡小学校では、今年度「幼保小連携推進地区事業」を受け、京急幼稚園・きらら保育園との交流を進めています。また、ここ数年コロナ禍でできなかった富岡中学校との小中連携や地域行事への参加も少しずつ始めていこうと考えています。いろいろな年齢や立場の人とふれあう中で「人とつながる力」を育んでいきたいと考えています。